

組合員の声を会社に伝える！

団交報告

2008年11月17日、14:00より第3貨物ビル会議室において団交が開かれました。

会社側出席者は加藤MD、ビアンカ、中島、境の4名でした。

中部国際空港閉鎖、新報酬制度、新職務制度、に関するものでした。

■中部の従業員のスムーズなサポートを！会社の努力を求め！

組合から会社への4つの要請項目

- * 関空へ移動した時、名古屋で親などの介護を行うための、介護休暇と交通費等の取扱い
 - * 名古屋地区内での移動希望者への優先的取扱い
 - * 名古屋ー関空が直線距離で200KMはないと思われるが、以上として扱う。(就業規則の引越費用補助の項目)
 - * 関空移転に際し、住宅特別手当(敷金、礼金の前払い等)や引越費用を従業員の負担がかからないように事前払い
- 組合は名古屋の組合員のために、4つの項目以外にもいろいろな問題が今後も浮上するであろうと予測し、会社側と団交を続けていくつもりです。

■新報酬制度と新職務制度

加藤MDとビアンカ両名が団交に出席していたこともあり

改めて新職務制度の問題点であるK-6~K-9のありもしない所を載せているのか？

この職種は存在しているか？ の問いにこの両名でさえも明確な答えをだしてくれませんでした。

ありもしないレンジを載せていることが明確になりました。

ないものを載せて従業員はどこにステップアップすればよいのでしょうか？

会社側は中・長期的にビジネスするためには人件費にお金がかかる

＝つまり新報酬制度は将来的に効いてくる、こう言っています。

団交の席では人件費削減ではないと言っていますがあきらかに新報酬制度＝人件費削減(コストカット)です。

加藤MDは『お金だけじゃない』と団交の席で述べましたが我々従業員は家族の生活も含めてお金＝給料が大事です。

将来の給料が上がらなければこの会社を去る人もこれまで以上に多くなるはずです。

現在の給料は下げていないが、体系をいきなり大幅に切り下げてきました。

P-S-Pに謳う最初の「人」の部分がないがしろにしてはこの会社の言う中・長期的に発展は望めないと思います。

組合試算(会社試算でも)では、2013年には確実に年収が下がります。

基本給がこれ以上上がらない＝将来我々の退職金が下がる。

現場のMGR達も頭打ちの問題も含めてどうやったら従業員のモチベーション(やる気)を上げるか

頭を悩ませています。現在の新報酬制度、新職務制度ではどうあがいても無理です。

■再雇用の問題点、再雇用者を1人と見なすのか、社員の補充を！

成田の職場では、定年を迎えた人を再雇用して、その人を1マンパワーと見なしています。しかし、昨年の団交では、

「1人と見なさないで上層部の了承を得ました。」との発言が人事部長よりありました。

今後、5年先、10年先を見据えた人材育成を会社側に要求します。

このままでは今いる従業員達が疲弊してしまいます。エンジニアの机上の計算だけでは現場の人数は足りません。

空港従業員は数字で結果が現れる部署がありません。毎日、みんなで協力して一つの結果を出しています。

随時組合員の加入を行っております。

HPアドレスは <http://www.fdxunion.com>

メールアドレスは fdxunion@fdxunion.com